

月例報告	
学部	文
学科	哲
国名	フランス
留学先	ストラスブール大学
報告月	2018年8月
内容	<p>1.学習状況の報告</p> <p>8月分の報告書ですが、様々な手続きがあった7月の内容も織り交ぜます。私は、地方出身者なので、2018年度の前期の試験が終了後、自分のアパートを引き払い地元に戻りました。このような場合、地元に移住するまでに全手続きを完了させることが最善です。同じ境遇の方は参考にして頂ければと思います。</p> <p><語学について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期開始前の交換留学生向け語学プログラム(2018/8/20~8/31) <p>渡仏前、3~4月頃のweb上での交換留学登録の際、このプログラムに参加したいか否かの意思表示をすることができます。料金は、2週間の語学授業料金、宿泊料金、ベッドリネン料金、水道光熱費込みで200€です。ストラスブール大学に留学する人は是非このプログラムに参加してほしいと思います。語学の授業に加え、EU議会見学(無料)、水上バス周遊(有料)、ストラスブール市庁舎でのレセプションパーティー(無料)、キャンパスツアー、等々、様々なアクティビティが用意されています。世界各地からの留学生が参加するので、学期開始前に交友関係を広げておくことが可能です。</p> <p>ここで一つ注意なのですが、この200€を前払いする必要があります。ストラスブール大学の口座宛に送金する必要があります。送金当日のレート(1€=130円)で26,000円でしたが、三菱UFJ銀行の手数料3,000円とフランス側の手数料3,500円、計32,500程かかりました。手数料は割高なので注意してください。</p> <p>初日、クラス分けテストが行われます。4つのクラスに分けられます。私は上から2番目・B2-C1レベルのクラスに分けられました。私は渡仏前にDELTA B2を取得していたので、順当にクラス分けされた形ですが、このレベルだと、クラスメイトがエラスムスプログラムや大学院の正規入学生ばかりなので、1年間の学部交換留学生にとっては、なかなか大変な授業です。毎日150字以上若しくは200字以上の作文の宿題が課されます。先生にもよりますが、A4サイズの紙、且つ、ボールペン書き以外は受け付けられません。また週2回くらいの頻度でプレゼンをします。法政大学にもこのような授業があると面白いと思いました。</p> <p>ここで注意していただきたいのは、初日のクラス分けテストで点数が低いと、「Non Admis, inférieur à B1」と評価される場合があります。このようにテストの点数が低く、B1レベル以下と判断されると、授業への参加を拒否されます。今回は10人ほど不合格判定されていました。不合格の場合、アクティビティには参加出来ませんが、授業には参加できません。200€は返金されません。2週間、ただただストラスブールで過ごすだけになってしまいます。この判定をされないよう勉強してください。</p> <p>2.生活状況の報告</p> <p>私が宿泊している大学寮:Paul Appellから歩いて5分ほどのところに、中規模のショッピングモールがありました。その中に大型スーパー、薬局、衣料品店、携帯会社等々が入っており、生活に困ることはありません。日曜日でもKFCとマクドナルドは営業しています。</p> <p>3.その他(今、感じていること~心境の変化やご自分の成長等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストラスブール大学への提出書類 <p>基本的に提出書類は、すべてメールにて提出しておりましたが、7月中旬に送られてきたメールに、最終確認書類のようなものが添付されており、さらに「郵送で送ってください」と書いてありました。「なぜ最後だけ郵送?」と疑問を抱きつつも、日本郵便の航空便・定形外(国際書留付き)にて送りました。810円でした。一番安心なのは日本郵便のEMS(国際スピード郵便)だとは思いますが、2,200円もかかるので経済的に余裕がある人のみ選択しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フライト <p>日本からストラスブールへの直行便は存在しないため、乗り換えが必要です。私の場合、まず成田からフランクフルト国際空港へ行き、その日はフランクフルトに一泊しました。翌日昼頃にフランクフルト中央駅(空港から3駅)からストラスブールへFlix Busにて行きました。Flix Busはヨーロッパ内を運航している格安バスです。フランクフルトからストラスブールへは20€程で行くことができます。ルフトハンザバスも存在し、フランクフルト国際空港から49€でストラスブールに行くことができます。ストラスブールでのバス乗り場が大学から1kmほどの場所なので、とてもアクセスが良いです。</p> <p>日本からパリの空港に行く方は、パリ東駅からTGVにてストラスブール駅へ行きます。時期と時間帯にもよりますが、40~80€くらいの値段幅があります。また、ストラスブール駅からキャンパス/寮までは3kmほどあるので、大きなキャリーケースを持って移動するにはトラムを利用した方が良いと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸籍抄本(出生証明)(戸籍謄本も可):この書類は忘れがちです。 <p>フランスで社会保険、CAF(住宅補助)の申請をする場合に戸籍抄本が必要となります。本来は出生証明が必要なのですが、日本には出生証明というものが存在しないので、戸籍抄本を利用します。ただし、日本の役所で発行した戸籍抄本は、日本国内でしか効力がないので、外国向けにリメイクする必要があります。このリメイクには2段階あります。①アポステイーユ、②法定翻訳、です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず①は、外務省へ赴き、アポステイーユというものを貼り付けてもらいます。申請の翌日には受け取りができます。申請にお金はかかりません。 ・次に②です。アポステイーユを貼ってもらった戸籍抄本を法定翻訳の会社に持っていきます。英語でも可能ですが、せっかくなのでフランス語に翻訳してもらいました。ここでかかった料金は4,320円でした。法定翻訳が完了するまで1週間程はかかるので、早めの手続きをお勧めします。法定翻訳に関しては、フランスでもすることができます。実はフランスでやる方が安いです。10€程で翻訳していただけます。しかし、フランス人のお役所対応に挑戦したい人、耐えることができる人のみ、フランスでやってください。紛失されてしまう可能性もあります。 ・心境 <p>まだ到着して1週間ほどですが、特に難なく過ごせています。授業中の積極性はやはりヨーロッパ出身の学生の方が高いですね。自分も彼らに負けないように積極性を身に付けていきたいと思います。</p> <p>DELTA B2を取得しているので、買い物や店員との会話、大学事務とのやり取りも大きな苦労なくすることが出来ています。日本にいるうちに少しでもフランス語力(英語力)を向上させておくことが良いと思います。また、諸外国圏に行くなら、現地の言葉を覚えましょう。特にフランスの場合ですが、英語を話した途端、対応が変わることはよくあります。「英語なんて知らないわ!」という雰囲気を出すフランス人も多く存在するので、フランス語で生活できるレベルまで身に付けておいてほしいです。</p> <p>来月からは本格的に授業が始まります。履修や授業風景についての報告ができると思います。</p>